

新会長に長榮周作 パナソニック株式会社 取締役会長が就任

JEITAは平成29年5月26日に第7回定時社員総会を開催し、長榮周作 パナソニック株式会社 取締役会長が新会長に就任しました。就任後の記者会見には27社30名の報道関係者が出席し、平成29年度の事業計画の基本方針に「Society 5.0の推進」を掲げ、事業を展開していく旨が、長榮新会長より発表されました。



長榮周作 新会長 (パナソニック株式会社 取締役会長)

長榮新会長記者会見 挨拶概要

はじめに

この1年間、CPS/IoTの推進に向けた取り組みやCEATEC JAPANの改革をはじめ、さまざまな取り組みにご尽力いただきました、東原前会長に感謝申し上げます。特に、平成29年度の税制改正では、研究開発税制の維持に加え、試験研究費の対象範囲にサービス開発に係る費用が追加されるなどの成果をあげました。

CPS/IoTを推進するための枠組みを整備いただいたことに、会員企業を代表いたしまして、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成29年度の取り組み

JEITAは本年度、高度な情報活用による、世界に先駆けたる超スマート社会の実現「Society 5.0」の推進を事業指針として掲げ、異業種・ベンチャー・海外などと連携し、成長分野に関わる課題の検討や提言などを実施していきます。特に、会員の競争力向上のための事業環境整備、CEATEC JAPANの変革、体制の強化に集中的に取り組んでいく方針です。

①事業環境整備

「Society 5.0」を実現するためには、協調領域の整備が欠かせません。ビッグデータ活用とプライバシー保護の両立、データ利活用促進による個人のニーズに合った新たなサービス提供に向けたルール作りやセキュリティ確保、国内におけるオープンデータ活用の価値醸成などの共通課題の検討を行い、規制・制度改革要望などを働きかけていきます。また、デジタル貿易分野において、グローバルなデータフリーフローの確保を図り、独自のセキュリティ規制など保護主義的政策の拡大を阻止するため、海外の業界団体と連携し、各国政府へ積極的に働きかけてまいります。

②CEATEC JAPANの変革

次に、CEATEC JAPANについてです。日本を代表するテクノロジーの展示会であるCEATEC JAPANは、昨年、家電見本市からCPS/IoTの総合展に大きく舵を切ったことで、従来のIT・エレクトロニクス業界のみならず異業種の企業も集う展示会に生まれ変わりました。

今年はさらなる変革として、社会課題の解決をテーマに据え、あらゆる産業が繋がることによる新たな価値創出を具現化し、「Society 5.0」のイノベーションショーケースをめざしてまいります。従来型の見本市でも、商

談会でもない、政策・産業・技術が連携することで拓かれる未来志向の次世代型展示会とするために、「3つの連携」を積極的に推進してまいります。

政府との連携

昨年は開催史上初めて、オープニングレセプションに、安倍晋三 内閣総理大臣にご出席いただきました。IoTは、政府が掲げるGDP600兆円実現に向けたキーファクターであり、今年も、政府や「IoT推進コンソーシアム」などの団体と連携し、また、2019年のラグビーワールドカップ、2020年のオリンピック・パラリンピックも見据え、政策と連動した取り組みや発信を強化していきます。

経済界との連携

経済界の立場から「Society 5.0」を推進する一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）とタッグを組み、CEATEC JAPANを名実ともに「Society 5.0」のショーケースにしてまいります。具体的には、昨年、金融や旅行などの異業種企業が出展した「IoTタウン」を、社会課題を解決し「Society 5.0」を築くフロントランナーが集結するエリアとして進化させるべく、経団連と連携してまいります。

海外との連携

政府とも連携し、CEATEC JAPANを海外との政策連携発信の場として活用頂けるよう取り組むと共に、以前より連携を強化しているアメリカ、ドイツ、フランスなどに加え、本年はインドとの連携にも取り組んでまいります。海外からベンチャー企業の出展を誘致するなど、日本市場の魅力を、積極的に世界へ発信していきたいと考えています。

③JEITA体制の強化

「Society 5.0」の推進には、産業界は従来のように、産業ごとにそれぞれ発展するのではなく、各産業が繋がりを、新たな価値創出を目指す必要があります。JEITAは、本年度の総会にて、会員制度に関する定款を変更し、IT・エレクトロニクス業界のメーカーに限らず、IoTに密接に関係する企業に会員の門戸を拓きました。今後は、自動走行やヘルスケア、スマートホームなどの成長分野における関連業界との積極的な協調を進める「繋げ役」として、業界の垣根を超えた連携を促し、IoTに関する課題や世界に先駆けた超スマート社会の実現に向けた議論をリードしていきたいと考えています。

おわりに

最後になりますが、任期の1年間、皆さまのご指導・ご協力を賜りながら、JEITA会長として、全力を尽くしてまいります。引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。



就任後の記者会見の様子